

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月20日

計画の名称	安全安心な暮らしを支える立川市下水道 第3期(防災・安全)(重点計画)													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○				
交付対象	立川市													
計画の目標	快適な生活環境が持続でき、災害に強い下水道を市民とともに目指します。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		648	A	648	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	多摩川上流処理区の分流式雨水管きょ整備率を24%(R2当初)から27%(R6)に増加させる。 多摩川上流処理区の分流式雨水管きょ整備率(%) 多摩川上流処理区の分流式雨水管きょ整備完了済み面積(ha)/多摩川上流処理区の分流式雨水計画排水区域面積(ha)	24%	26%	27%
2	内水浸水想定区域の解析及び雨水管理総合計画の策定(全2工程) 各工程ごとの完了率(%) 完了工程/全2工程	0%	0%	50%
3	内水ハザードマップ作成 内水ハザードマップの作成 作成完了までの進捗	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
1.一次評価：立川市環境資源循環部において事業の実績表を作成し、目標と照らし合わせ定量的指標の達成状況を明らかにする。 2.二次評価：定量的指標の達成状況を明らかにする。 3.二次評価の結果を事後評価書に反映する。	令和8年3月
	公表の方法
	立川市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川上流処理区の分流式雨水管整備により当該地域の浸水対策に寄与した。 ・内水浸水想定区域の解析結果を基に内水ハザードマップを作成し、大雨時の浸水が想定される区域や浸水する深さなどの情報をまとめたことによって、浸水時の避難や日頃からの備えを市民へ意識付けすることに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
雨水管理総合計画策定を令和8年度に完了させる予定。今後は雨水管理総合計画に基づき優先順位をつけ、雨水管整備を行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	27%
	最終実績値	28%
2	最終目標値	50%
	最終実績値	50%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%